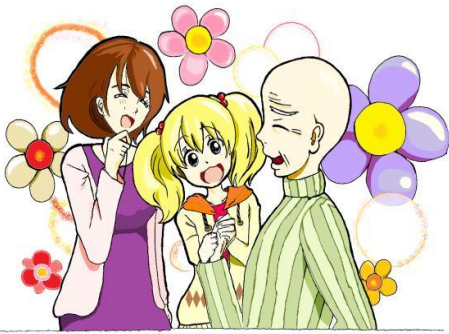


myらいふ

● 記事のご案内 ●

1985. 4. 25~
-146号-

- ① とちぎ花フェスタ 2016 in かぬま
- ② 整理収納セミナー・お片づけの基本
- ③ みんなのウクレレ
- ④ おひなさまめぐり お話し会
- ⑤ 絵手紙入門
- ⑥ 第10回かぬま市民協働まつり



myらいふは、市民編集員が取材・編集する生涯学習情報記事です。

笑顔も咲いた とちぎ花フェスタ2016inかぬま

2月27(土)、28(日)、29(月)の3日間にわたり鹿沼市花木センターで「とちぎ花フェスタ」が開催されました。

会場は第1会場と第2会場があり、第1会場には生け花や押し花などが展示されている展示エリアとステージ、第2会場にはハンギングバスケットやフラワーディスプレイが展示されている展示エリアと物販・飲食エリアがありました。また寄せ植えや押し花などの体験教室も行われていて、ピンクのマーガレットや花カンザシなどを植え込んだ寄せ植え体験を楽しむ人でにぎわっていました。

第1会場に設けられたステージでは3日間にわたり様々なイベントが開催されました。私が取材した日は「花き講座 カーネーションの楽しみ方」「唄と新舞踊」や「詩と朗読」などが発表されました。私は「詩と朗読」を聞きました。やわらかな心地よい声が会場に響き、とても癒されました。



また展示会場では、人気コンテスト1~3位の作品が選ばれていました。1位は「あしかがの春」2位は「スプリング・スマイル」3位は「にじいろの春」です。私が印象に残ったのは「スプリング・スマイル」です。花々が目をさまし、人も花も笑顔輝く春になりますようにと表現した作品です。黄色の花をメインに、ユリ、フリージア、バラなどの花でトピアリーや花かごが制作されていました。黄色がとても輝かしくフレッシュな作品でした。

天候に恵まれたこの3日間、「とちぎ花フェスタ 2016 in かぬま」は多くの人々が訪れ、たくさんの感動と笑顔を私たちに咲かせてくれました。



心までスッキリ、片づけ上手で快適に



2月27日（土）特定非営利活動法人ふうめらん主催による「整理収納セミナー・お片づけの基本」が開催されました。講師は整理収納アドバイザー大杉悦子さんです。

たくさんのモノに囲まれて暮らす中で、「しょっちゅう探し物をしている」「気持ちが悪くすっきりしない」「同じ物をいくつも買ってしまう」など経験したことがありますか。日々の生活を快適に送るために整理・収納は必要ですね。しかし、整理が苦手な人にとっては「どこから手をつけていいかわからない」「物が捨てられない」とい

うことがあるかもしれません。整理の基本は「分けること」です。最近では「断捨離」という言葉が流行し、整理のためには物を捨てなければならないと思われがちですが、講師は「人それぞれの価値観があります。他人からこれは必要ないから捨てなさいと言われても納得できないものです」と言います。まず「今必要としているもの」と「そうでないもの」に分けて、必要なものだけを使いやすいように収納すると、それだけで生活しやすさは向上すること。また収納のコツは「動線」で、よく使う物を腰の高さに収めると使いやすさがアップすることです。具体的

な整理収納のコツやテクニックも写真などでわかりやすく示し、整理収納が苦手な人にも「私にもできるかも」と思える楽しい講座でした。受講生も「わかりやすかった。帰ってさっそく取り組みたい」とやる気に溢れているようでした。

整理収納は、自分の今のライフスタイルを見つめ直す機会となり、さらには豊かな人生に通じるということです。この講座は今後も継続して開催される予定です。整理収納が苦手な人にも、更なる達人を目指す人にもオススメです。



Let's ハワイアン ウクレレを弾こう♪

2月21日（日）市民情報センターにおいてかぬま・マイレッジ主催の「みんなのウクレレ」講座が開催されました。

ベテラン講師の中野潔先生のもと、10名の受講生が思い思いにウクレレを調律したり、好きな曲を「ポロンポロン…」弾いて調子確かめていきました。

皆さん中級以上の方なのでいきなり演奏から始まりました。まず、有名なハワイアン音楽の「赤いレイ」から、先生のスチールギターのメロディーにのせて、全員息の合ったすばらしい演奏を聴かせてくれました。そして徐々に調子も上がってきたので、「南国の夜」「ホノルル娘」と2曲続けて演奏しました。もう教室はハワイアン気分がいっぱいになりました。演奏しながら歌を唄っている方もいました。

そして、講師から、ウクレレの理論的な説明として楽譜の読み方（三基コード等）や専門用語（ノンコード・ターセット等）、また、ウクレレの基本奏法（シャッフルストローク・トリプルストローク・ロールストローク）を分かりやすく手本を見せながら教えていただきました。

最後に「サンゴ礁の彼方」を全員ウクレレで合奏しました。

「継続は力なりで根気よくやれば必ずできます」との言葉を講師からいただいて、私もぜひ挑戦してみたいと思いました。

受講生の中には、すでにコンサート会場で演奏されている方もいらっしゃいました。





おひな様めぐり さつきの里 むかしがたり



2月28日(日)銀座1丁目自治会館にて行われた「さつきの里 むかしがたり」の取材に行ってきました。お話は鹿沼民話の会5人の皆さん、参加者は子ども2名を含む13名でした。

この日、鹿沼市内では恒例のおひな様めぐりが開催中で、3月3日が近いこともあり「おひな様の由来」というお話から始まりました。続いてメンバー5人の方が交代しながら1話ずつ話され全部で12話聞かせて頂きました。聞いたことのある昔話がほとんどでしたが、初めて聞いたお話もあり、どのお話にも語り伝えていきたい、人と人のかかわり合いにおける大切な思いが込められていました。お話しして下さっているメンバーそれぞれの方の声や語り方がとても素敵で、あっという間に聞く側に情景が伝わり、一話一話とてもわかりやすく楽しく聞くことが出来ました。おばあちゃん、お母さん、娘さんの3世代で来られた方もいて、「普段はあまり昔話を聞かないのでとても良い機会になりました」とおっしゃっていました。

終了後メンバーの方にお聞きしたところ、それぞれの昔話は元々あるお話や、その地域に出向いてそこに伝えられてきたものを工夫して書き直し、季節おりおりの行事に合わせ、老人ホームや学校なども回りお話しりの活動をされているそうです。

今回お話しして頂いたうちのいくつかがまとめられた「さつきの里むかしがたり、ふるさと民話めぐり」の本が図書館におかれているとの事です。ぜひご覧になって昔話の世界にふれてみてはいかがでしょうか。



へたでいい、へたがいい………絵手紙入門



2月17日(水)シルバー人材センターで「絵手紙入門」講座が開催されました。講師は柏木弘己先生です。

絵手紙独特の柔らかな温かみのある字体や絵は、全て筆を使って表現することによって生まれます。今回の講座では線を描く練習のために仏像を模写する作業を行っていました。筆の持ち方は独特で、筆の柄の先端に近いところを軽く握り、紙に直角に立てるようにして描きます。筆先には心の揺れがそのまま伝わって線に出てしまい、雑念がある時と集中している時では全く違ってしまおうそう。室内では硯の上で墨をする音だけが聞こえ静かな時間が流れていきました。受講生の様子を見守る講師の先生のまなざしはとてもやさしく「迫力があっていいね」「良く出来ている」とひとりひとりに温かい言葉をかけていました。次に、梅や、ねこやなぎを題材に1枚の絵手紙を作成しました。春の訪れを知らせる心温まる作品が完成しました。



柏木先生は中央小学校でも絵手紙を教えているそうで、「良い所を見つけると子どもの目が輝いて意欲も高まる」とおっしゃっていました。

「絵心なんていらない、へたでいいへたがいい、自分流に見たまま感じたまま思いのままに描いてみよう」柏木先生の言葉に誘われ私も絵手紙にチャレンジしてみようと思いました。

「市民協働まつり」盛大に開催。

「第10回かぬま市民協働まつり」が3月13日(日)にまちなか交流プラザとその周辺で開催されました。名付けたテーマは『ありが10から→』。市民活動やボランティアを広く地域の人々に知ってもらうため、また、協働によるまちづくりへの関心を促すことを目的として始まった当イベントも、今回記念すべき10回目を迎えました。

会場はメインステージのある本部エリア、飲食エリア、子育てエリア、物品販売エリア、そしてまちなか交流プラザ1階に広がり、出展者は展示や販売に思い思いの創意と工夫を凝らしていました。



イベントも盛り沢山で、「宇都宮ブリツェン自転車安全教室」「大声コンテスト」「鹿沼東高校書道パフォーマンス」。そして子どもたちに人気絶大の「とちまるくんふわふわ」「カヌマンショー」をはじめスタンプラリー、ダンス、よさこい、サイエンスショー、バンド演奏などに多くの人が集まりました。

また、派手なパフォーマンスこそありませんが、「市民協働」というイベント本来のテーマをしっかりと訴えている、NPO 法人やボランティア団体が数多く参加していました。ステージでは、その中から顕著な実績が認められた活動の紹介や助成金の贈呈式も行われました。そして、出展者同士の情報交換や、展示やお店を取り囲む人々の輪の広がりが、これからの市民協働のまちづくりを進める確かな力になるのではないかと思います。

当日はこの時期としてはやや寒い一日でしたが、出展者、参加者、観衆の熱気の中に、もうすぐそこまで来ている春の気配が感じられました。

編集後記

過ごしやすい陽気になってきました。学校の新入生、それから新社会人のみなさんも日々の生活に慣れてきたことと思います。新しい生活は楽しくてしたいことがたくさんあります。私も絵手紙を書き始めました。

佐藤圭子